



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名:ウラクロシジミ

学名:*Iratsume orsedice orsedice*

雄の翅表



雄の翅裏

ミドリシジミ、いわゆるゼフィルス仲間ですが、雄の翅表は真珠色に輝き、裏面は黒っぽい色をしています。そのため、「裏黒シジミ」なのですが、それほど黒いわけでもありません。

雌の翅表は、黒褐色の地に青白色の紋があります。

多くのゼフィルスの幼虫はブナ科の樹木の葉を食べますが、ウラクロシジミの幼虫はマンサクを食べます。春、ふ化した幼虫は、マンサクの柔らかい若葉を食べて成長し、梅雨頃羽化して夕刻になると活発に活動します。

広島県では、廿日市市から庄原市までおもに中国山地沿いに分布しています。まだ発見されていない地域でも、マンサクがある森林で探せば発見される可能性があります。

【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

